

平成30年度

第8回大分県教育委員会 議事録

日 時 平成30年7月20日 (金)

開会13時35分 閉会14時33分

場 所 教育委員室

平成30年度
第8回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第1号議案 教職員の懲戒処分について

第2号議案 教職員の懲戒処分について

(2) 報 告

①ふるさと「しごと」フォーラムについて

②高校生ものづくりコンテスト九州大会について

(3) その他

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	工 藤 利 明
	委員	林 浩 昭
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	松 田 順 子
	委員	高 橋 幹 雄
	委員	鈴 木 恵
事務局	理事兼教育次長	宮 迫 敏 郎
	教育次長	姫 野 秀 樹
	参事監兼教育人事課長	法華津 敏 郎
	参事監兼学校安全・安心支援課長	宗 岡 功
	参事監兼特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	教育改革・企画課長	中 村 崇 志
	教育財務課長	佐 藤 誠一郎
	福利課長	阿 部 浩 康
	義務教育課長	米 持 武 彦
	高校教育課長	檜 崎 信 浩
	社会教育課長	石 井 利 治
	人権・同和教育課長	樋 口 哲 司
	文化課長	阿 部 辰 也
	体育保健課長	井 上 倫 明
	屋内スポーツ施設建設推進室長	山 上 啓 輔
	教育改革・企画課主幹	下 鶴 直 哉
教育改革・企画課主査	三 浦 晃 史	

2 傍聴人

1 名

開会・点呼

(工藤教育長)

それでは、委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

ただいまから平成30年度 第8回教育委員会会議を開きます。

署名委員指名

(工藤教育長)

本日の議事録の署名委員でございますが、高橋委員にお願いしたいと思っております。

会期の決定

(工藤教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。

会議の終了は14時15分を予定しています。

よろしく申し上げます。

議 事

(工藤教育長)

はじめに、会議は原則として公開することとなっておりますが、会議を公開しないことについてお諮りします。

第1号議案及び第2号議案は、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。公開しないことに賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

それでは、第1号議案及び第2号議案は、非公開といたします。

本日の議事進行は、はじめに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行いますので、よろしくお願いいたします。

【報 告】

①ふるさと「しごと」フォーラムについて

(工藤教育長)

それでは、報告第1号「ふるさと「しごと」フォーラムについて」榎崎高校教育課長から報告いたします。

(榎崎高校教育課長)

報告第1号「ふるさと「しごと」フォーラム」について報告します。

高校生を対象とする「ふるさと「しごと」フォーラム」は、今年で3回目を迎え、7月30日に実施します。

資料の1ページをご覧ください。

この行事の目的は、大学進学を希望している高校生のキャリア観を醸成することにあります。働くことの意義を認識するとともに、将来大分で働くイメージを持ってもらうために行っています。

「6. 日程」をご覧ください。午前の部は全体会です。

まず、石井工作研究所の佐藤一彦社長からご講演いただきます。佐藤社長は大分銀行を経て、3年前に石井工作研究所の社長に就任され、業績を大きく伸ばした方でいらっしゃいます。

続いて、県内企業の20代の若手社員によるシンポジウムを行います。生徒に年齢が近い職業人からの話ですので、生徒にとっては、将来の具体的なモデル像として参考になると考えています。

午後の部では、生徒の希望進路に合わせて26の事業所に協力をいただき、企業見学を実施します。具体的な事業所、および参加生徒数については、2ページに記載しておりますので、併せてこちらもご覧ください。

今年の変更点は、企業魅力体験において、各事業所から事前課題をいただいた点です。

例えば、大分バスを例にとりますと、事前課題として、「若者がバスを利用するにあたって、こんなことがあったらバスに乗ってみたいという利用促進のための具体的なサービスや路線等を考えてくるように」と

いう課題をいただき、これを踏まえて生徒がディスカッションを行います。

また、本年度は対象を従来の2年生のみから、高校1、2年生にも枠を広げました。その結果、現在、生徒が747名、保護者等も含めて、829名の参加希望が出ています。報告は以上です。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(松田委員)

テレビ大分や大分合同新聞社は大分県に本社がある企業ですが、東京や大阪などの大都市に本社があり、支店や支社が大分にあるような企業ともっと繋がるとよいのではないのでしょうか。

それから、先ほど説明された大分バスの事前課題についてですが、実際に「このようにしたら良い」というようなアイデアが出てくるのか。

(檜崎高校教育課長)

なかなか新たな企業を開拓することも難しく、実は金融機関にもお願いに回ったのですが、大学生の就職時期が少し動いたりした中で、今回は参加いただけなかった企業もございました。今回は大分で働くということを中心に置いています。東京などの都市部の状況を踏まえた上で大分で働いてもらうことが重要だと思います。参加いただける企業について、開催時期等でも多少影響を受けますので、次年度はいただいた意見を参考に考えていきたいと思っています。

また、本フォーラムを過去2回実施してみて非常に有効な取組ということが分かりましたので、さらにこれが充実した取組になるように考えていきたいと思っています。

(松田委員)

学生と話をした時、ある幼稚園を就職先として希望していたので、その理由を尋ねたところ、研修先がハワイという点を挙げていました。結構、学生はそのようなところがあり、仕事のやり甲斐や仕事をする楽しさといった部分をあまり重視していないところもございます。ですので、職場をPRする時にそのような部分も大切にすると、意外とそこが決め手になったりします。我々、大人が「このようなものが良いのではないか」というものだけではなく、若者の思考や気持ちを踏まえた上で、このようなシンポジウムを実施するのが良いのではないのでしょうか。

大学生を指導する中で、今まで重視されていた「ふるさとで働く」と

いうことよりも、世界に開かれていたり、サービスが良かったりすることの方を若い方が重視していると感じます。

(高橋委員)

高校生がこのフォーラムを体験し、その後、大学に進学した場合、このフォーラムがきっかけとなって大分でインターンシップができるような繋がりが出来るようになるのですか。

(檜崎高校教育課長)

本フォーラムがそれに直結するものではありませんが、企業との何らかの結びつきが出来やすくなることはあると思います。

(高橋委員)

これがきっかけになって企業と若者が繋がり、優秀な人材が大分に帰ってくることを期待します。このような取組を今後も盛んに行っていたきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

(林職務代理者)

2 ページにある訪問企業一覧表では、生徒の希望学部系統別に参加企業を振り分けていますが、例えば、分野番号1にある企業から採用されようとする学生は、その学部系統からだけではありません。企業もいろいろな学部から採用しますので、大学の学部と関連性のある企業とが矢印で交差するような形になるのではないのでしょうか。そうすると、例えば理学部に行っても、この表で文系に分けられている企業にも就職できるということが分かると思います。そうした点から見ると、今回の訪問企業一覧を見直す必要があると思います。

それから、公務員系という分類がよくわかりません。それよりも地方創生学部などを表に加え、その学部からは全部に矢印が出ているようにする方がよいのではないのでしょうか。

(檜崎高校教育課長)

この学部系統はこれまで便宜上このように位置付けていましたが、ご意見をいただきましたように様々なところから結びついているものと思いますので、この部分の記載については、もう少し工夫していきたいと思います。

(林職務代理者)

来年は工夫をお願いします。

それから、最近、地方創生系の学部ができ、多くの方が興味を持っていますので、そのようなところに着目し、この中に地方創生系の学部も

一つ加えるとよいのではないのでしょうか。

(松田委員)

訪問企業一覧の中に学部系統は必要ないかもしれませんね。

②高校生ものづくりコンテスト九州大会について

(工藤教育長)

次に、報告第2号「高校生ものづくりコンテスト九州大会について」
檜崎高校教育課長から報告いたします。

(檜崎高校教育課長)

報告第2号として、平成30年7月7日(土)、8日(日)に沖縄県
で開催された「第17回高校生ものづくりコンテスト九州大会の結果」
について、ご報告いたします。

1ページをご覧ください。今回の九州大会には、大分県代表として8
部門に出場しました。大分工業高校、鶴崎工業高校、情報科学高校、佐
伯豊南高校が大分県代表としてこの8部門に出場いたしました。この結
果、「化学分析部門」で、大分工業高校の工業化学科の2年生の生徒が
九州トップである最優秀賞、「電気工事部門」では鶴崎工業高校の電気
科3年生が、「家具・工芸部門」では鶴崎工業高校の産業デザイン科3
年生が優良賞を獲得しました。

今後、最優秀賞を受賞した大分工業高校の生徒は11月に東海地区で
開催されます全国大会に出場いたします。これまで、化学分析部門にお
いては、全国大会での最高順位が2位ですので、初の全国制覇に意欲を
燃やし練習に取り組んでいると聞いております。

なお、具体的な競技の概要とこれまでの大分県の実績については2ペ
ージに掲載しています。報告は以上です。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある
方はお願いします。

(松田委員)

以前、高校生が全国大会で賞を取った時、教育委員会会議の中で取組
を説明したことがありました。可能であれば大分工業高校の生徒も説明
する機会があるとよいと思います。

(工藤教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、

公開でその他、何かございませんか。

(林職務代理者)

大阪地震によるブロック塀の倒壊をうけて、県内の調査結果について報告いただきたい思います。

(佐藤教育財務課長)

県立学校の調査結果についてご説明致します。

6月18日の地震発生を受け、翌19日にはブロック塀の有無について確認したところ50校中40校でブロック塀があることが判明しました。そして、6月22日から7月4日にかけて建築技術職員が検査したところ、40校中34校に改修が必要なブロック塀が認められました。ブロック塀は全長7,927メートルのうち、6,161メートルで改修が必要です。残りの約2,000mについても本当に大丈夫か調査することを考えています。

また、一番危険と思われる別府鶴見丘高校については、別府市役所や警察等と調整し、今週中に工事に必要な許可を得て、来週には工事に入る予定です。

(宗岡参事監兼学校安全・安心支援課長)

市町村立学校の状況を説明させていただきます。

休校も含めて幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校は計526校ございます。このうちブロック塀がある学校は155校あり、ブロック塀の全長は15,689メートルとなります。

この中で対策が必要なブロック塀のあるところは、106校・園になります。長さは10,030メートルです。これらについては、106校全ての学校で撤去・注意喚起・近寄らない措置等行っています。この中には撤去が始まっているところもあります。今後は専門職員がブロックの厚さや内部の鉄筋の厚さ等を調査し、7月27日を最終報告とするようにしております。

(林職務代理者)

今回の大阪地震でこのように調査することとなったと思いますが、前回の熊本地震の時は、何か問題点はなかったのですか。

(宗岡参事監兼学校安全・安心支援課長)

別府市には別府石でできている塀があり、別府大学のあたりで壊れましたが、別府市においてブロック塀が壊れたというものはありませんでした。熊本市では倒壊したブロック塀があると聞いています。

(岩崎委員)

小中学校では注意喚起等行っているとの説明がありましたが、県立学校ではどのように注意喚起されていますか。

(佐藤教育財務課長)

各学校には張り紙やトラロープを張るなど注意喚起を行うようお願いしています。

(岩崎委員)

特に小中学校の通学路上にあるブロック塀への対応は所有者や占有者との関係で難しい面もあると思いますが、どのようにされていますか。

(宗岡参事監兼学校安全・安心支援課長)

特に小学校の通学路を中心に全ての市町村で交通安全という視点から通学路の点検を実施しておりますが、新潟市の児童殺害事件や今回の地震を受けて、防犯の視点と危険なブロック塀の点検という視点を加えて合同点検を実施したところです。

(鈴木委員)

私の住んでいる豊後大野市では、学校から調査用紙が届き、ブロック塀のことや防犯上注意をする地点を地図等を書くようになっていました。スクールゾーンのところにもブロック塀があり、そこは個人が所有しているものになっていますが、そのような箇所も点検するよう地域の方に声かけしていただきたいと思います。

(高橋委員)

ブロック塀はこれまで防犯上の目隠しという目的でも造られていたと思いますが、このブロック塀を撤去する場合、新たに防犯上の措置として柵などを取り付ける予定はありますか。

(佐藤教育財務課長)

県立学校には壊すだけですむ物もありますが、防犯上の措置やボールが外に出ないように対応をする必要があるため、きちんと塀やフェンスを造ることを検討しています。

(高橋委員)

昨今、侵入者が発生する事件等が多発していますので、防犯面でもしっかり対応していただきたいと思います。

(松田委員)

最近、気温が高く、全国各地で熱中症による死者も出ています。中には暑さに慣れてきた生徒もいるかもしれませんが、意外と屋内の部活動等でも体調変化に気を配る必要があると思います。県教育委員会では、熱中症についてどのような指導をしているのでしょうか。

(井上体育保健課長)

体育活動中における熱中症事故防止について、5月上旬に通知していますが、異常な気象が続いていることから、昨日改めて県立学校及び市町村立小・中学校へ注意喚起を行ったところです。

(宗岡参事監兼学校安全・安心支援課長)

今回、新たに35度以上の高温注意情報が出た時には、校外学習、学校行事を中止すべきという内容の通知を発出いたしました。

(松田委員)

大学では体育館とグラウンドとの間に霧状のミストが出るようにしています。これほどの気温になれば注意喚起を行うだけではなく、設備面でも工夫することが必要ではないでしょうか。

(工藤教育長)

では、先に非公開と決定しました議事を行いますので、関係課室長のみ在室とし、その他の課室長及び傍聴人は退出してください。

(関係課以外及び傍聴人退出)

【議案】

第1号議案 教職員の懲戒処分について

(工藤教育長)

それでは、第1号議案「教職員の懲戒処分について」法華津参事監兼教育人事課長から説明いたします。

(説明)

(工藤教育長)

ただいま説明のありました議案について、審議を行います。ご質問・ご意見のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

他にございませんでしょうか。

それでは、第1号議案の承認についてお諮りいたします。第1号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

第1号議案については、提案どおり承認します。

第2号議案 教職員の懲戒処分について

(工藤教育長)

次に、第2号議案「教職員の懲戒処分について」法華津参事監兼教育人事課長から説明いたします。

(説 明)

(工藤教育長)

ただいま説明のありました議案について、審議を行います。ご質問・ご意見のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

他にございませんでしょうか。

それでは、第2号議案の承認についてお諮りいたします。第2号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

第2号議案については、提案どおり承認します。

(工藤教育長)

それでは、最後にその他、何かございますか。

ないようですので、これで平成30年度第8回教育委員会会議を閉会

します。
お疲れ様でした。